

2023年度 事業計画

(2023年4月1日より2024年3月31日)

1. 第18回研究大会の開催

- 2023年9月2日(土) 千葉大学 西千葉キャンパス けやき会館(研究大会長:近藤 克則 先生)にて開催する。
- 会場は新型コロナウイルス感染症の状況により、オンライン開催を検討する。

2. 学会誌/機関誌の発行

医療経済・医療政策の発展に少しでも貢献することを目的とし、医療経済・医療政策研究の発展を図り、医療政策立案及び評価に学術的基盤を与える。また、医療経済・医療政策の分野において調査、研究の発表の場や、産、官、学を問わず意見交換、学術討論の場を提供する。

(1) 「医療経済研究」の発刊

- Vol. 35 No. 1 2023年10月予定
- Vol. 35 No. 2 2024年3月予定
- 今年度は特別寄稿について、厚生労働省の医系技官など、実際の政策策定に携わっている実務家からの寄稿を掲載することにより、医療経済研究誌の執筆者層・読者層を共に広げる。

(2) 「Asian Pacific Journal of Health Economics and Policy」の発刊

- Vol. 5 No. 1 2023年10月予定
- Vol. 5 No. 2 2024年3月予定
- APJHEPの誌面を充実させるため、各編集委員が有するネットワークを生かし、国内外から執筆者をinviteし、執筆を依頼する(可能であれば海外の著名な執筆者が望ましい)。引用数を出来る限り増やす目的で、執筆テーマを、執筆者の国の政策関連(医療、介護などの各種制度)や疫学統計・計量経済学の手法とし、さらに、J-STAGEへの登録、(いわゆる「ハゲタカジャーナル(predatory journal)」ではないことを証明するため)ホワイトペーパーリストへの掲載など、まずは、APJHEPの地盤固めに資する施策を徹底的に実施する。

(3) 編集委員会の開催

- 編集委員会を2023年5月、11月に開催し、例年の編集委員会の検討内容に加え、医療経済研究/APJHEPの誌面充実や引用数を増やす施策に対する議論・検証を行う。

3. 若手研究者育成のためのセミナーの開催

若手研究者（主に大学院生）の育成を目的とし、各分野の指導層からの教育フィードバックするセミナーを開催する。

(1) 第20回若手研究者育成のためのセミナー

- 第20回若手研究者育成のためのセミナーは、第18回研究大会との同時開催を予定する

(2) 第21回若手研究者育成のためのセミナー

- 2024年3月頃の開催を予定する

(3) 学術推進委員会の開催

- 年2回学術推進委員会を開催し、学術推進策を検討する。具体的には、質の高い医療経済学研究が可能となるデータベースの開発に向けた合意形成を図ることを目的に、「質の高い医療経済学的研究のためのデータベース検討事業（仮称）」について検討する。

4. 国際交流活動

国際交流委員会では、学会員の国際交流の活発化を目的とし、以下の活動を行う

(1) 日台韓国際セッションの開催

- 第14回日韓台国際セッション（主催：韓国）開催に際して、学会員の国際交流の支援を行う。

(2) 国際交流委員会の開催

- 国際交流委員会を開催し、日台韓国際セッションの開催及び学会員の国際交流活性化に向けた活動について検討を行う。

5. 繰越金を活用した事業

学会では、繰越金を活用した学会員へのサービス向上に取り組んでいるが、2023年度は過去2年間の支出により、繰越金残高が適正水準に近づいたため、見送ることとする。

6. 学会HP等を通じた情報発信（仮）

学会では、学会員への情報提供等のサービスの充実と、対外的な広報活動を目的とし、HP等を通じて以下の活動を行う。

(1) 学会員に対する情報発信・サービス

- 研究大会情報（事前案内、演題プログラム、抄録集の閲覧サービス）を充実させ、タイムリーな提供を行う。
- 学会会員に対しては、医療経済研究機構の会員向けホームページを無料で閲覧可能とし、調査報告書等を入手することができるよう継続して優遇する。
- Facebook の管理および学会 HP 上の研究室訪問および採用情報の管理については、継続の可否も含めた判断を理事会で引き続き検討する。

(2) 非学会員に対する情報発信

- 学会への関心を高めるため、非学会員に対しても発信できるコンテンツについて検討する。（たとえば医療経済研究の特別寄稿の一部や、学会シンポジウム記録など、政策的関心の高いテーマなどについて選択的に情報公開するなど）

(3) 海外に向けた英文 HP の検討

Asian Pacific Journal of Health Economics and Policy や関連の成果、ならびに日本における医療経済学の学術的・政策的活動について、アジア地区ならびに世界の関心に応えるため、英文 HP の充実について引き続き検討を行う。